

「消費生活に関するパネル調査」について

(第17回調査結果)

公益財団法人 家計経済研究所

2010年10月6日

・パネル調査とは

<調査結果>

I. 夫の収入の変化と家計の対応 (p.4)

- (1) 夫の収入が減っても妻の労働時間は増えない
- (2) 子どものための支出は最優先、夫と妻はガマン

II. 定額給付金はどのように使われたか (p.6)

- (1) 約7割の世帯が、受け取ってから半年以内に全額使い切る
- (2) 定額給付金の半分は日常の買い物に、2割は今まで買えなかったものに
- (3) 定額給付金の6割は家族共通のために、2割は子どものために

III. 妻の親・夫の親への援助の意向 (p.9)

- (1) 夫婦の関係が親への援助の意向にも影響

・公益財団法人 家計経済研究所の概要と研究活動

【お問い合わせ】

公益財団法人 家計経済研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北 2-3-7 前川九段ビル 3階

電話 03 (3221) 7291 FAX 03 (3221) 7255

E-mail info@kakeiken.or.jp URL <http://www.kakeiken.or.jp/>

専務理事 江崎 芳雄

担当：次席研究員 久木元真吾 (kukimoto@kakeiken.or.jp)

次席研究員 坂口 尚文 (sakaguchi@kakeiken.or.jp)